|  |
| --- |
| **学校経営推進費　評価報告書（最終）** |
| **１．事業計画の概要** |  |  |  |
| **学校名** | 大阪府立箕面支援学校 |
| **取り組む課題** | 生徒の自立支援 |
| **評価指標** | ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信・支援学校における個々の児童生徒のライフステージに対応したキャリア教育の推進 |
| **計画名** | みのおしえん　どこでもカフェ　プロジェクト　～屋台カフェで地域へ発信～ |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** |  |  |  |
| **学校経営計画の****中期的目標** | １. 児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動の推進（１）就労を通じた社会的自立をはじめとする自己実現や社会参加を促進する教育の充実を図る。（３）高等部における職業コースの充実のために、就労をめざす科目（職業・作業・実習）の関連性を明確にし、授業内容の充実を図る。（４）キャリア教育PTが関係分掌等と連携して、キャリア教育全体計画を推進し、授業内容の充実と学校全体としての一貫性のあるカリキュラム試案を作成する。 |
| **事業目標** | 移動型カフェ（屋台）での活動をとおして「作業」「給仕」に取り組み、屋上をはじめとする校内の様々な場所で、カフェを運営することにより個々の児童生徒がそれぞれのライフステージに応じた社会的自立への体験を蓄積する。更に地域の小・中学校の行事や事業所等で開催されるイベントに参加し、地域との交流を図るとともに、児童生徒においては「制作」「調理」「接客」等を体験する。また、これらの取組みをとおして、箕面支援学校を地域に発信する機会とし、小・中学校の特別支援教育力の向上、障がい者理解につなげていく。これらの体験により、早期から児童生徒の「自己有用感」を高めるとともに個々の「考える力」を育成し、それぞれの社会的自立をイメージする力をつけ、高等部卒業時の就労者数と進学（大学、専門学校等）者数増加の成果が見込まれる。 |
| **整備した****設備・物品** | 屋台保護パレットシートカバー（３） モバイル屋台キット（３） 収納台車（３）折りたたみアルミベンチ（25） 折りたたみテーブル（15） 大型クーラーBOX（１）業務用コーヒーマシン（３） 電子レジスター（１） 信楽粘土20kg（１）ユニフォーム[カフェエプロン]（30） モバイル屋台キット（３） コーヒー豆１kg（５）中型物置[1370×1790×2075]（３） 黒陶土（細）20Kg（１） ２×４材（４）インバータ発電機（３） プランター（３） 油滴天目釉１ℓ（１）ステンレス製プランターハンガー（３） 陶芸本焼き絵の具（２） 柿天目釉１ℓ（１）コースレッド特箱[38mm]（２） １×４材（６） ラワン合板[６mm]（５）白鳳マット釉１ℓ（１） 和紙（１） 染料（１）コースレッド特箱[51mm]（２） 絵の具[アクリル12色]（２） 画用紙[八つ切り]（２）コースレッド特箱[75mm]（２） 赤信楽すいひ粘土２号20kg（１） |
| **取組みの****主担・実施者** | 主　担：特色創造PT（教頭・首席、各学部教諭）、キャリア教育連絡会議のメンバー（首席【部主事】、キャリア教育コーディネーター【教諭】）実施者：高等部Bグループ・Cグループ担当を中心に全校教職員 |
| **本年度の****取組内容** | 【小学部】 カフェびらき「低学年集会・高学年集会」/接客練習「総合」/６年生と中学部Bグループの共同学習（全２回）/ポスター・ちらし作り「図工」/学校運営協議会委員へのカフェサービス/３学期授業参観週間カフェOPEN「自立活動」【中学部】 Bグループ「総合」での１年を通しての取組み/Cグループ「情報」でのポスター制作（校外カフェ用）/Aグループ「生活」での販売用ドライフラワーの栽培・制作/参観週間カフェOPEN/A「生活」、Bばなな/れもん「総合」、C「総合」、中２「プレカフェ」/Bグループと小学部６年生との共同学習（全２回）/２年生カフェ校外学習（みのおライフプラザ）/学校運営協議会委員へのカフェサービス（デリバリー）【高等部】 納涼大会でのカフェ出店（全学年希望者）/参観週間におけるカフェ出店（各学年）/コーヒーやカフェに関する授業（調理実習など）/接客ロールプレイ/ポスター制作【全　体】 全校カフェ交流会（12月19日と２月20日）/おもてなし全校集会（２学期終業式）/校外カフェ出店３/28予定（地域福祉施設）であったが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止となる。 |
| **成果の検証方法****と評価指標** | 全ての児童生徒が、授業参観週間での校内カフェにおいて、一人一役の役割分担の中で児童生徒が協力して下記カフェ運営を行う。① １～６年の各学年単位で３学期授業参観週間カフェを行い、店員役を経験する。② 学習グループ単位で２学期授業参観週間カフェを行い、店員役を経験する。校外学習の位置づけで、校外出店をして地域の方々とコミュニケーションを深める。③ 「家庭」および「職業」の授業において、就労を意識した体験実習を行う。納涼大会で保護者や地域の方々に向けた接客を行う。④ 学校教育自己診断において本校のキャリア教育の取組みに関する肯定的評価（保護者・教職員）が78％を超える。授業参観週間の校内カフェにおいて、保護者の参加が70組を超える。 |
| **自己評価** | ① １～６年の各学年単位で３学期授業参観週間カフェを行い、全児童が保護者を対象にカフェオープンを実施して約120杯を保護者に提供することができた。また、学校運営協議会での来校者にもコーヒーサービスを行い、好評を得た。 （○）② 全学習グループ（ＡBC）が授業で啓発ポスター制作・販売用ドライフラワー制作・接客練習を経て、中学部全生徒が授業参観週間にて店員（接客等）を経験した。また、学校運営協議会での来校者にもコーヒーサービスを行い、好評を得た。中学部２年が校外学習として箕面市ﾗｲﾌﾌﾟﾗｻﾞで校外出店を行い、約70杯を売り上げ地域の方々との交流を深めることができた。 （○）③ 学習グループABCの各授業で接客等の練習を実施した。また「自立活動」「家庭」「職業」の授業において、就労を意識した体験実習を行った。さらに授業参観週間や通常授業時において、保護者を招いてのカフェオープンを実施し、高等部生徒の81％の生徒が店員役の経験を通じて接客を行うことができた。納涼大会では保護者や地域の方々に向けた接客を行い、約70杯のコーヒーを販売した。学校運営協議会での来校者にもコーヒーサービスを行い、好評を得た。 （△）④ 学校教育自己診断において本校のキャリア教育の取組みに関する肯定的評価（保護者・教職員）が76％の評価を得た。小学部・中学部・高等部の授業参観週間の校内カフェにおいて、保護者の参加がのべ200組を超えた。 （○） |
| **事業のまとめ** | 学校経営推進費の対象事業の最終年度（３年め）となり、「今年度の自己評価」に加えてこれまでの３年間の総括を各学部会や職員会議で共有した。そして、次年度の本校学校経営計画の重点目標「キャリア教育の推進」の主たる題材としてから以下のように全校的な取組みに移行する。【目標改定】 人間関係形成能力の育成… 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。 将来設計能力の育成……… 夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する【運営主体者】 各学部付き首席 と キャリアCo【取組み内容】① 小学部… 授業参観週間カフェ（３学期）を目標に、２学期後半から「総合」「図工」授業等でのポスター・チラシ作りと接客練習を行う。② 中学部… 授業参観週間カフェ（２学期）と校外学習におけるカフェ校外出店を目標に、各グループ授業等での接客練習を行う。③ 高等部… 納涼大会（PTA共催行事）での職業体験カフェOPENを目標に、納涼大会に向けた事前学習を行う。【評価指標】 学校教育自己診断においてキャリア教育に関する肯定的評価（教職員・保護者）を78％以上 |